

# 姫路医療センターさくらんぼクラブ通信

さくらんぼクラブは、がん患者さんとご家族のための会です

2012年5月 第25号

## まださくらんぼクラブに参加したことのない方へ ～どんなことをしているの？～

今回の通信は、「まださくらんぼクラブに参加したことのない方へのご案内」スタイルでお届けいたします！



姫路医療センターの中へはいり、中央通路を左折、最初の角をまた左折するとそこに**がん相談支援室**があります。部屋のスタッフに「さくらんぼクラブに来ました」と告げたら、小部屋に案内してくれます。まず、首から下げられるタイプの名札に名前を書き入れましょう。もちろん、本名でなくてもかまいません。話すときに呼び名があった方がいい、というだけのことですから。そうそう、ここでは飲み物やお菓子は出されませんから、喉が渴きそうなら何か用意しておいてくださいね。



いよいよ10時になりました。顔なじみの人たちは賑やかに、初めての人はちょっとドキドキしながらテーブルを囲みます。

まずは自己紹介から。手短に、“がん”とのなれそめと、その後の経過、現在の状況などを話します。もし気になることや、他の人に聞きたいことがあって参加したのであれば、自己紹介の時がチャンス！そのことも言っておきましょう。初めて来た人の話が優先されがちですから、いろんな人のアドバイスや経験談を聞くことができます。他の参加者の話を聴きたいだけなら、それもOKですよ。

さくらんぼクラブでは、その時々でプログラムが用意されていることがあります。3月は「絵手紙」を作りました。色とりどりの本物の野菜を見て、ゆっくりと筆を動かします。実際に描くのも楽しいし、気が乗らない時は、皆が描いているのを見ているだけでもいいのです。今回もなかなかの力作が並んでいました。

## 今後のさくらんぼクラブ

2012年5月25日(金)

2012年6月22日(金)

2012年7月27日(金)

2012年8月24日(金)

2012年9月28日(金)

2012年10月26日(金)

時間は**10:00～12:00**です

**姫路医療センター1階  
がん相談支援室**でお待ちしています



そうこうするうちにもう12時前。片付けをして名札を返します。3月の参加者に感想を聞いてみますと…

- 来てみたら楽しかった。
- 話すだけで元気になれた。
- がんのことをよく知らないので、他の方々の話が参考になります。
- リンパ浮腫の改善のためのマッサージなどに興味がある。
- さくらんぼクラブでもハイキングの様な活動ができるといいですね。

「また来月！」と言い合って解散…とはならず、その後も院内でおしゃべりが続くことが多いようです。同日に開催されることが多い「呼吸器教室」へ行かれる方もいます。がん相談支援室で個人的に相談することもあります。きっかけは、“病気”でも、友人・知人が出来るのは心丈夫なことだと思います。

さて、具体的にどんな話をしているのかというと…。

さくらんぼクラブ通信は、さくらんぼクラブ会員である患者さんやそのご家族の体験・言葉で構成され、

姫路医療センターがん相談支援室が発行しています。

## さくらんぼクラブでの話題・あれこれ

さくらんぼクラブの中でのお話は、実に多様です。自己紹介をするうちにわかってくる共通な話題で盛り上がることが多いです。がんの部位、治療、主治医、年代…など、次から次から出てくる話題に「そうよね～。」とその都度盛り上がるのでした。

3月23日は、7名(初めての方1名を含む)が集まり、4月27日は10名(めずらしくリピーターさんばかり)が参加しました。



初めて参加されたご夫婦、ご主人の偏食をおもしろおかしく話され、みんなから「おいしく野菜を食べる方法」を伝授してもらっていました。さて、みんなのアドバイスは役に立ったでしょうか。

病気をするまでは仕事ばかりだったので、仕事を辞めた今、畑づくりや孫の世話にいそしみ、病気の事や再発の事はあまり考えないようにしています。



Aさんは昨年の夏、放射線治療と抗がん剤治療が終わり、職場復帰をしました。「仕事仲間とは違って、患者仲間に会うとホッとするのは私だけ？」と語られ、毎月は出席できないけど、皆さんに会えるのを楽しみにしていると言っておられました。Aさんは診察の時に、「手首が痛い」と主治医に申し出ると、「老化現象！」と言われ、ショックを受けたそう…でもこうやって皆に話し、一緒に大笑いし、病友と慰め合う時間が大切だと感じておられます。また、病気になった自分のために娘が誘ってくれた海外旅行へ行くことをとても楽しみにしているのだそうです。



4月はさくらんぼクラブを少し早く終え、病院の外へ出てみました。みんなで新緑まっさかりの市立美術館前庭の芝生の上にシートを広げて、靴を脱いで座り、また座りにくい人たちはベンチに座りました。

この日は目の覚めるような青空で、自然と皆の顔もほころび、「気持ちいいね」「楽しいね」との言葉が出ます。

芝生の中、目を凝らすと可憐なスミレが無数に咲いています。通り過ぎるだけではきっと気付かなかつた愛らしさです。



病気になって、つらいこと、みじめだと思ったこと、涙を流したこと…いろんなことがそれぞれの身に起こったことでしょう。また、入院中の家族と病院の周辺で過ごした思い出のある人も、当時のことを懐かしそうに話していました。

こんな美しい春を味わえたことで、前へ進む力がチャージされた気がします。

3月のさくらんぼクラブで作成した絵手紙と、桜の咲きはじめの絵(揖保川河口近くにて)



このお魚の名前は？？ご存じの方、教えてくださいね！この絵はがん相談支援室に飾っています。